学校番号	３２３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新選「世界史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十三訂版　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の歴史の大きな流れを、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解できるようにします。また、世界史についての資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を表現する力をつけてもらいます。できるだけ日常生活における世界の歴史にかかわる主題を取り上げ、世界史学習の意義を認識してもらいます。

2　学習の到達目標

世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探求していく態度を身につけます。また、文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を養う。さらに、現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追求を通して認識を深めていく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性と現代世界の特質、現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	世界各地の諸事象について、地理的条件や日本史とも関連付けながら考察している。政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え、広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。	収集した世界史についての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。	世界史的な知識を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。世界史的な知識を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。
評価方法	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査(資料の読み取り)	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1学期</td><td>人類の出現</td><td>・人類の出現
・濃厚、牧畜の始まり
・文明の誕生</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="6">a：現在の世界の諸課題について主体的に追究している。

b：政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え、広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。

c：資料を、客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。

d：世界史的な知識を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。</td><td rowspan="2">授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
<tr><td>オリエント世界と地中海世界</td><td>・オリエント世界の形成
・地中海世界の形成とオリエントとの結合
・ローマと地中海世界の成長
・ローマ帝国周辺の西アジアとアフリカ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>南アジア世界</td><td>・インダス文明
・ヒンドゥー文化の波及</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
<tr><td>東南アジア世界</td><td>・風土と社会
・海の道と都市国家
・諸国の興亡と地域文化の形成</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
<tr><td>東アジア世界</td><td>・中華文明の形成
・秦漢帝国と東アジア</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
<tr><td>中央ユーラシア</td><td>・中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現
・古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>東アジア世界の変動</td><td>・ユーラシアの変動と東アジア世界
・東アジア諸地域の成長と自立</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a：現在の世界の諸課題について主体的に追究している。
b：政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え，広い視野</td><td>授業態度
課題提出
発問評価
定期考査</td></tr>
</table>

	イスラム世界の形成	・イスラム文明の誕生 ・イスラム世界の拡大	○	○	○	○	からその歴史的意義を公正に判断している。 c: 資料を、客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査
	ヨーロッパ世界の形成	・地中海北方へ広がるキリスト教 ・西ヨーロッパの成長と拡大 ・封建社会の解体と王権の伸張	○	○	○	○	d: ： 世界史的な知識を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査
3学期	ユーラシア大帝国の出現	・モンゴル世界帝国の出現 ・モンゴル帝国の統治体制	○	○	○	○	a: 現在の世界の諸課題について主体的に追究している。 b: 政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え、広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。 c: 資料を、客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。 d: 世界史的な知識を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。	授業態度 課題提出 発問評価 定期考査
	アジア諸地域の栄華と成熟	・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国清とアジア諸国の成熟 ・イスラム世界の成熟	○	○	○	○		授業態度 課題提出 発問評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。